

令和7年度道路整備促進高知県大会 (主催:道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会)

令和7年5月12日(月)、城西館(高知市)において、濱田知事、三石高知県議会議員、四国地方整備局豊口局長、西日本高速道路(株)四国支社後藤支社長をはじめ、ご来賓の方々、会員の市町村長、議会議員などをあわせ約190名の方々の参加のもと、「令和7年度道路整備促進高知県大会」を開催しました。

大会では、国土交通省道路局小林企画課長から、国土強靱化の取り組みをはじめとした「道路行政をとりまく最近の情勢について」幅広く情報提供いただき、写真家の山崎エリナ様から、「写真家から見たインフラメンテナンスの現場の魅力」と題してご講演いただきました。

最後は、幹線道路ネットワークの機能強化、国土強靱化実施中期計画について現行の対策を大幅に上回る事業・予算規模で策定することなど、7項目の決議を満場一致で採択しました。

大会次第

- (1) 開 会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 来賓紹介
- (5) 道路行政をとりまく最近の情勢について
国土交通省 道路局 企画課長 小林 賢太郎 様
- (6) 講演「写真家から見たインフラメンテナンスの現場の魅力」
写真家 山崎 エリナ 様
- (7) 決議採択
- (8) 閉 会

主催者挨拶



主催者
会長 池田 洋光

- 本県の8の字ネットワークは、昨年度2箇所が開通し、整備率は、63%となるなど、着実に前進している。
- 南海トラフ地震から地方を守るためには、国土強靱化実施中期計画に基づく、幹線道路ネットワークの機能強化が必要。
- 会員が一致団結し、道路整備が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設に向けて全力で取り組む。

来賓挨拶



高知県
知事
濱田 省司 様

- 県政の最重要課題は人口減少対策。若者に本県に留まっていたく上でも、安全で快適な人流と安定した物流の確保は不可欠。
- 「安全・安心な高知」の実現のためにも、本県の緊急輸送の根幹を成す、8の字ネットワークなど道路整備を加速しなければならない。
- 高規格道路の早期完成のために必要な予算の確保に向け、積極的に提言活動を行ってまいります。



高知県議会
議長
三石 文隆 様

- 道路は本県の産業、経済、県民の日々の暮らしを支える重要な社会基盤。
- 激甚化する自然災害等への備えとして、「命の道」の整備は、災害に強い県土づくりの要。
- ミッシングリンクを解消し、良好なネットワークを次世代へつなげ、誰もが安心して暮らすことができる高知の実現に向け、県議会としても、行政と連携しながら力を尽くしてまいります。



四国地方整備局
局長
豊口 佳之 様

- 南海トラフ地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、その備えが急務。
- 国土強靱化の一環として、「命の道」である8の字ネットワーク整備など各種インフラ整備に取り組んでいる。
- 防災面に加えて、道路整備は観光周遊支援にも大きく寄与する。
- 道路整備に必要な予算の確保に向け、最大限努力してまいりますので、ご協力をお願いします。



西日本高速道路(株)
四国支社 支社長
後藤 由成 様

- 高速道路は南海トラフ地震等の災害発生時の救援・復旧にあたり、非常に重要。
- 緊急輸送路の確保のため、高知道では、橋梁耐震事業を推進。
- 暫定2車線区間についても、大規模災害時の早期復旧の観点からも重要な施策と認識。引き続き、機能強化に貢献してまいります。
- 観光面においても、高速道路を通して地域の魅力を堪能していただけるよう、努めてまいります。

情報提供

【道路行政をとりまく最近の情勢について】国土交通省 道路局
企画課長 小林 賢太郎 様



国土交通省 道路局
企画課長
小林 賢太郎 様

- 道路関係直轄予算は近年、横ばいで推移している中、維持修繕費が増加し、改築費が減少。5か年加速化対策などの補正予算で改築費を確保している。
- 国土強靱化は着実に進展しており、近年の豪雨や地震等において効果を発揮。一方で自治体の老朽化対策には課題があり、予防保全への移行にはまだまだ期間を要する。
- 国土強靱化実施中期計画の素案では、5年間で20兆円強の規模が示されたが、今後の物価高騰の影響を予算編成過程で適切に反映する必要があり、安全安心な道路をつくるための予算の確保に向け、引き続き訴えていただくようお願いする。
- 人口が減少する中、道路整備に関するネガティブ報道があるが、諸外国と比較すると、ミッシングリンクや暫定二車線区間を多く有する日本は、都市間移動速度で劣り、その結果、経済が伸び悩んでいる。
速達性が向上することで、地域の産業・観光・救急医療活動の支援に繋がる。
人口減少が進む今こそ、道路整備による生産性の向上が必要である。

講演

【写真家から見たインフラメンテナンスの現場の魅力】山崎エリナ写真事務所
写真家 山崎 エリナ 様



山崎エリナ写真事務所
写真家
山崎 エリナ 様

- 現場の作業は時に批判を受けることがあると聞き、イメージアップや担い手確保に繋がればと全国各地で写真展を開催。現場の魅力をさらに伝えるために、写真集を出版する等PR活動を実施。
- 高速道路の補修現場では、通り過ぎる5秒の世界に人の力と技術が結集されている。
- 当たり前前に利用するインフラは、現場で働く方の底力と使命感によって支えられている。写真家から見たインフラメンテナンスの現場は、日常を支え、人々を笑顔に出来る仕事、感謝される仕事、感動させる力のある仕事、そして、365日暮らしと安全を守る仕事。
- 近年は、SNSなどを活用した発信が人材確保に効果を見せていることから、皆さまとともに、現場の魅力を引き続き発信していきたい。

決議

- 高規格道路のミッシングリンクの解消など、7項目の決議案を力強く朗読。全会員の賛同をいただき、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会として採択した。



副会長 横山 幾夫

閉会挨拶

- 昨年度は、8の字ネットワークが全線着手になったことに加え、2区間が開通した。また、先月には、高知松山自動車道「いの〜越知」間の都市計画決定に向けた手続きが始まるなど、本県の道路整備は着実に前進。
- 引き続き、各市町村が直面している様々な課題の解決に不可欠となる道路整備を着実に進めるため、会員が一丸となって取り組んでまいります。



副会長 小田 保行

